

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「発達障がいに関する理解と支援」
- 2 対 象 教職員
- 3 専門医 御供 正明 医師（精神科）
- 4 実施月 8月
- 5 内 容（キーワード）
 発達障がいとは／特性を長所と捉える／
 伸びしろ／ルール順守／根気よく／自己肯定感
 障がいに見合った指導の工夫／褒める



評価（あてはまるものに○をつけ、理由を記入）

①健康課題の解決について

- 有効だった
 有効でなかった

<その理由>

*発達障がいの概要や効果的な支援、ケース別の対応事例への対策などを教えていただき、大変有意義だった。

②校内の組織づくりについて

- 有効だった
 有効でなかった

<その理由>

*支援の具体的なポイントを教えていただき、今後、職員間で共通した認識と指導・支援方針で対応にあたるのが期待できる。

③校外の関係機関等との連携について（派遣専門医を含む）

- 有効だった
 有効でなかった

<その理由>

*教職員が支援制度について学び、家庭への情報提供を行ったり、家庭・行政・福祉・医療と積極的につながることの大切さを教えていただいた。



〔受講者の感想など〕

- 特別支援教育では、“生きる喜びの創出”の支援が重要なポイントであることがわかった。
- 後で読み返してもわかるような詳細な資料を準備していただき、大変ありがたかった。

〔教科やその他の指導との関連性〕

- 本講話で学んだ発達障がいを有する生徒への配慮と二次障害の予防的対応は、学校生活全体を通じて、職員一人ひとりが実践していく必要のあるものだと感じた。